

千歳中だより

禪 大切にする 素直・正直 気づく



令和7年11月28日

No.7

世田谷区立千歳中学校
校長 和田 祐一郎

実りの秋

校長 和田 祐一郎

学芸発表会当日の朝は、新しい会場であるせたがやイーグレットホール世田谷区民会館の前に期待と緊張感に胸を膨らませた生徒たちが参集しました。クラスによっては風邪やインフルエンザで欠席の生徒が多くいるクラスもありました。舞台発表では、生徒一人一人が自分たちにできることを最大限やりきる姿を見ることができとても頼もしかったです。特に最後の「千歳中学校の合唱コンクール」を迎えた3年生のパフォーマンスは圧巻でした。それぞれのクラスがクラスの努力や思いを、合唱にのせて1、2年生に見せてくれました。その3年生各クラスの歌が、3学年全体として、この合唱を引き継いでほしいという願いを伝えているようにも感じました。

「実りの秋」とは夏の暑さを越えて育った穀物や果実がいよいよ収穫の時期を迎えるという、歓喜のイメージを実感する言葉です。これは作物に限らず、皆さんのが学芸発表会のために、努力し協力して歌声をそろえて合唱コンクールにも当てはめられるものです。生徒の皆さんがあまぐるしいほどの成長ぶりを見てくれたことが、まさに「実りの秋」と言えます。この千歳中のよき伝統を引き継ぎ、さらに発展させてくれることを確信した素晴らしい行事となりました。

先月の31日に行われたせたがやイーグレットホール世田谷区民会館を会場にした学芸発表会は平日にもかかわらず、PTAや地域の方々のご支援をいただきながら、多くのご来賓の方、保護者の方に参観していただき、また、温かいご声援や励ましをいただきありがとうございました。



三回目の学芸発表会を終えて

長員委會行審表發基學

元祐丙辰

れ実に年表感
顔三発任て笑、芸責じ
がめ学の感
もたのてを
組誰る後して安
ず創最と不
半れを。長と
わ会た員つ
ら表し委づ
と発ま行は
に芸め実度
賞学務、年
はう員級、
私よ委上り
る行最な
た。

さ学取切でをしと行に大員見まこ実当の全意したた本とはなをれきてこ度々事らきてきる年様仕めつでり今、ら進張が借り、めがを頑とをでたな習にこ力のるり練共ぶのたす頼でら喜りい歌を員がと周て謳り全なちしを周スいたはと会、ラ合間年落表れクし仲、去見発入。援のを芸りた応員

思いで、をと大
となま一値この
たせ席。価うと
っさ客たのいこ
あじ、し当とむ次いす。
が感てで本だし、しま
労をい唱て程楽めらい
苦れて合い過。広晴て
のそいいお習すに素つ
んがをしに練で体き祈
さ人情ら会くい全続を
く一表情表なし校きと
た人た素発はほ学引こ
も一しる芸でとにする
です。年、とわ学賞いつ度せ
がき伝はは年残
すが生が生のれを今を
つどまき力年つ忘さも果
か一生努二もを切回結

学芸発表会を終えて

学芸発表会実行委員会代表

2年A組

るは学表美よ準えな中迎ナはせをも
切会た発日地るこ動歳。シ年はせをも
り表し芸毎心な聞活千すで学出合てと
や発と学、てには部、でス二力なし生
で芸りなでい生に、りけラ。のんく年
ま学さん下て年私会取わクた%どわ三
後のつど廊し三に員ける各し%思。、ま
最回あはのご、う委受なはま120年来わは間ますにり
ず今、私後過はよはらにちし、。、ち仲まう張
せ?いも課、声の生か在た功し、かたでいよう頑
をかなで放う歌団年生存私成結しの分ル思いく
協たの。合の合二年く、に団まる自一となく
妥し部たすき生るち三い会とてしき。クるの協
、ま二しで響年いたをて表こつ長でね、など妥
んき第できが二て私ンつ発るか成がんいにこも
さで、会好楽。き。ト張芸作向にとせし年す唱
なは習表大音。でたバっ学をに年こまわ学残合う
みと練発もいですがしの引た一標学くれさのいのよ
こ朝芸会しい備まどをえジ目る聴眠ふい思次し

学芸発表会を終えて

昌行委會表發章程

云光表云
1年D組

僕は、学芸発表会を終えて、感じたことが三つあります。

一つ目は、どのクラスもレベルが高くて

1985、1986、1987、1988、1989、1990、1991

びっくりしたことです。学芸発表会では、一年生は評価基準により、金賞一つ、銀賞二つ、銅賞三つでした。でも僕は一年生の合唱を聴いて、どのクラスも金賞レベルだと思いました。

二つ目は、他学年の合唱に大きな刺激を受けたことです。一年生に比べて、声量や立ち振る舞いがとてもすごく、来年からは先輩を上回るような歌や態度で学芸発表会に臨みたいと感じました。

員になって、委行とこみるところを発難して、会し難いってあります。



高校の先生の出張授業を受けて

2 年 C 組

僕は、生成 AIについて学びました。メリットについてより詳しく知りました。メリットは、レポートを書くときに、テーマ、題名、内容についてできき、されば、それに合わせた文章を生成 AIが文章としてまとめてくれ、生成 AIが文章には思いつかないマルチな発想を出したことです。デメリットは、間違った情報をや AI動画があたかも真実のようになるなどです。今後のAIとの付き合い方では、AIを悪用しない、情報を使わない、といいます。





英語スピーチコンテストを終えて

3 年 F 組



スクールカウンセラー出勤予定日	杉本 尚子	12/1(月) 12/8(月) 12/15(月) 12/22(月)
※千歳中相談室直通電話	麻生奈央子	12/4(木) 12/11(木) 12/18(木)
(3300) 7321	桂 玲	12/5(金) 12/12(金)